

今週（8月5日から8月9日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、引き続きビッドサイドの資金調達ニーズが強く、レートは高値圏で推移した。無担保コールO/N物の加重平均レートは、5日(月)から8日(木)までは0.227%での推移となった。9日(金)は3連休前の取引となったが、相場に大きな変化は見られず、概ね横這い圏での出会いが中心となった。ターム物に関しては、1W～2W物で0.228～0.30%、1M～3M物で0.30～0.35%で出会いが散見された。

日銀当座預金残高は、5日(月)に短国の償還超過を受けて543兆円程度まで増加して始まったものの、7日(水)の10年債発行、9日(金)の30年債発行による減少が見られた結果、542兆円程度での着地見込みとなった。

●レポ市場

今週のGC O/N物は、0～0.245%近辺で推移した。週初は、前週の不安定な地合いを引き継ぎスタートしたが、6日(火)の10年債入札以降、徐々にオファーが増加しレートが上昇する展開となった。

SC取引の個別銘柄では、2Y440～463回、5Y150～168回、10Y355～375回、20Y180～188回、30Y65～82回、40Y13～16回などで引合いが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、全ゾーンが強含んで推移した。

8日(木)に行われた6M物入札と9日(金)に行われた3M物は、いずれも無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは小甘く推移した。

●CP市場

今週のCP市場は、電気機器、石油・石炭、建設等、複数の業態で大型発行が実施された。

週間の償還総額3兆6千億円程度に対し、発行総額は4兆2千億円程度となった事から、市場残高は緩やかに増加する展開となったものの、概ね23兆円台後半での推移となった。

レート水準については、政策金利の引き上げ以降、依然として定まりにくい状況となっており、銘柄や期間により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
8/5 (月)	31,458.42	0.754	145.65	0.227	0.147	5,432,400
8/6 (火)	34,675.46	0.885	145.02	0.227	0.115	5,444,200
8/7 (水)	35,089.62	0.875	144.75	0.227	0.151	5,423,100
8/8 (木)	34,831.15	0.830	146.05	0.227	0.174	5,428,400
8/9 (金)	35,025.00	0.855	147.54	0.227	0.233	5,420,900

来週（8月13日から8月16日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定		海外主要経済指標
8/12 (月)	振替休日			7月の米財政収支
8/13 (火)	7月の企業物価指数(日銀 8:50)			7月の米生産者物価指数
8/14 (水)		5Y 23,000億円 8/15発行		7月の米消費者物価指数 4-6月期のユーロ圏GDP2次速報 7月の英消費者物価指数
8/15 (木)	4-6月期のGDP 1次速報(内閣府 8:50)	国有林野借入 961億円 8/26借入		7月の米小売売上高 7月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月の米企業在庫 4-6月期の英GDP速報値
8/16 (金)	6月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 6月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)	TB3M 49,000億円 8/19発行	10Y物価連動 2,500億円 8/19発行	7月の米住宅着工件数 8月のミシガン大消費者信頼感指数速報

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/12 (月)	振替休日								
8/13 (火)	0	6,800	6,800	CP買入 国債補完	▲ 100 19,000		18,900	25,700	TB3M発行▲49,000償還58,000 TB6M発行▲37,000償還38,400
8/14 (水)	1,000	1,000	2,000				0	2,000	
8/15 (木)	1,000	57,000	58,000				0	58,000	年金定時払い、源泉所得税揚げ 5Y発行▲23,000 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲4,700 個人向け3・5・10Y償還1,200 交付税借入▲12,500期日12,500
8/16 (金)	800	1,000	1,800				0	1,800	
週間合計	2,800	65,800	68,600	—	18,900	0	18,900	87,500	

8/13は日銀予想、8/14以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き資金調達ニーズの強い展開が見込まれ、ビッドは0.227~0.228%程度に多く集まる展開が予想される。債券レボGC T/N物のレート水準は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ、0.15~0.245%程度の水準で推移することが予想される。短国市場は、16日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、一部の事業者が夏季休暇に入り、閑散なマーケットが予想される。

主要なイベントは、国内では13日(火)に7月の企業物価指数、15日(木)に4-6月期のGDP 1次速報、海外では、14日(水)に7月の米消費者物価指数、4-6月期のユーロ圏GDP2次速報、15日(木)に7月の米小売売上高、4-6月期の英GDP速報値などが予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよく読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入